

一般社団法人日本人間工学会第 25 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 26 年 6 月 4 日（水）15:00～16:55
2. 開催場所：神戸コンベンションセンター・神戸国際会議場 5 階 501 号室（大会 B 会場）
3. 出席者：<敬称略>
 - ・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)
 - (理事) 青木和夫(理事長・学術・企画・ウェブアクセシビリティ支援委員長), 酒井一博(副理事長・学会組織
検討委員長), 榎原毅(広報), 大内啓子(総務), 大久保堯夫, 大須賀美恵子(編集),
河合隆史(企画・IEA), 小谷賢太郎(国際), 三林洋介(財務), 徳田哲男, 福田康明, 堀江
良典(総務), 三宅晋司(財務), 矢口博之 [14 名]
 - (理事兼支部長) 北村正晴(東北), 阿久津正大(関東・表彰), 森本一成(関西) [3 名] [計:17 名]
 - (欠席者) 酒井正幸, 津久井一平, 土屋和夫, 芳賀繁(安全人間工学委員長), 松岡敏生, 吉武良治
(人間工学専門家認定機構長・第 4 期選管), 横山真太郎(北海道), 斎藤真(東海), 村田
厚生(中国・四国), 和田親宗(九州・沖縄)
 - ・監事：赤松幹之
 - ・第 4 期理事予定者：横山清子(学術), 吉村健志
 - ・第 4 期理事兼支部長予定者：本多薫(東北・総務), 岡久雄(中国・四国)
 - ・オブザーバー：斎藤進(学術・50 周年準備委員会), 藤田祐志(IEA), 川野常夫(第 55 回大会長)
 - ・事務局：栗田紀子, 西原彩, 米倉裕美

冒頭, 青木理事長の挨拶に続いて, 川野大会長より大会の概要説明及び歓迎の挨拶があった。
次いで, 第 3 期理事・監事と第 4 期理事予定者等全員により自己紹介が行われた。

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 17 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後, 定款に
従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

- (1) 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告について
堀江総務理事より, 平成 26 年定時社員総会資料の平成 25 年度事業報告案の説明があり, 審
議を経て承認された。
- (2) 第 2 号議案 平成 25 年度収支決算(案)について
三林財務理事より, 平成 25 年度収支決算案の説明の後, 赤松監事より監査報告が行なわれ,
審議を経て承認された。
- (3) 第 3 号議案 平成 26 年度事業計画(案)について
堀江総務理事より, 平成 26 年度事業計画案について説明があり, 審議を経て承認された。
- (4) 第 4 号議案 平成 26 年度収支予算(案)について
三宅財務理事より平成 26 年度収支予算案の説明があり, 審議を経て承認された。
- (5) 第 5 号議案 第 4 期選挙管理委員会報告について
堀江総務理事より, 第 4 期選挙の投票率と決定した代議員及び役員についての報告があり,

審議を経て承認された。

続いて、青木理事長より 2013・14 年の活動計画と活動目標及び常設委員会・臨時委員会・担当等の体制について説明があった。

＜活動計画の骨子＞

「より魅力的な学会」を目指し、以下を推進する。

- 1) 社会のニーズを先取りし、ガイドライン等を作成し発信する。
- 2) 研究部会の成果を会員に提供できるよう、記事や公開講座を開催する。
- 3) 企業との交流を活発化し、ニーズを先取りする。
- 4) 活動を広域化し、大会についても 2 年に 1 度は関東以外での開催を目指す。
- 5) IEA・ISO 活動について、アジア地域における人間工学の活動を活性化させる。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第 24 回理事会議事録

堀江総務理事より、メール審議を経て第 24 回理事会議事録が確定した旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告(5 月末)

2014 年 5 月末現在、会員数 1,586 名、賛助会員 31 社 32 口。

(1-3) メールによる審議および報告事項の結果について

堀江総務理事より、メール審議事項と報告事項の結果について報告があった。

続いて、阿久津表彰委員長よりグッドプラクティス賞の優秀賞 2 件について、共同開発者を追加で受賞対象者とすることを承認して欲しい旨報告があり、審議の上承認された。

(2) 担当・委員会報告

(2-1) 広報委員会

榎原委員長より、学会 HP のアドレスについて、ハッカー等への対策や編集委員会の電子査読システムの導入等に伴うセキュリティ強化のため、これまでの「http://」から「https://」に切り替え作業をしている。これに伴い、人間工学会のサーバーで運用しているページについては、https の暗号化通信に順次切り替える旨報告があった。

(2-2) 編集委員会

大須賀委員長より、投稿規程の改定について、6 月発行の機関誌に予告を載せる予定である。8 月号の機関誌から新投稿規程となり、同時に HP 上に掲載している投稿規程も入れ替わる旨報告があった。

(2-3) 国際協力委員会

小谷委員長より、ACED2014 が韓国・済州島において開催された旨報告があった。次回 ACED 大会は 2017 年に日本で開催することが決定しているが、運営組織作りや場所について来年の IEA 会議において報告することになっているため、協力をお願いする旨説明があった。また、IEA Council meeting が 6 月末に台北で行われる。人間工学会として IEA に対して期待すること等があれば、国際協力委員会まで連絡をしてほしい旨要請があった。

(2-4) ISO/TC159 国内対策委員会

JENC 事務局の米倉氏より、経済産業省からの予算報告に続いて、規格便覧の改訂作業を現在行っている旨の報告があった。

(2-5) 第 4 期選挙管理委員会

堀江総務理事より、選挙結果について報告があった。

(3) 支部報告

(3-1) 東北支部

北村支部長より、新支部長の紹介と活動状況についての報告と、本多新支部長から挨拶があった。

(3-2) 関東支部

阿久津支部長より、支部委員会の開催予定と支部大会の準備状況について報告があった。

(3-3) 東海支部

福田理事より、支部総会・研究会等についての報告があった。

(3-4) 関西支部

森本支部長より、活動状況と計画について報告があった。次回の支部大会は昨年に引き続き、中国・四国支部と合同で開催する旨報告があった。

(3-5) 中国・四国支部

岡次期支部長より、理事の改選状況と支部大会を関西支部と合同で開催する旨報告があった。

(3-6) 九州・沖縄支部

三宅理事より、今年度の支部大会を熊本市近郊で開催する旨報告があった。

(4) 協賛等の依頼

青木理事長より、3 件の依頼について協賛・協力をする旨報告があった。

(5) その他

(5-1) 今後の理事会日程について

青木理事長より、次回理事会は 6 月 5 日社員総会後の開催であることの確認を行った。

続いて堀江総務理事より、第 27 回理事会は 9 月 16 日(火)、28 回理事会は 12 月 16 日(火)に開催したい旨の説明があった。会場は未定であるが、日大理工学部で開催の場合には、Web 会議も可能である。ただし、Web 会議による参加の場合には、Web 出席という形となる。

今後の開催日程に対して、火曜日は参加が難しいという意見が福田理事と阿久津理事から出された。また、大久保理事・阿久津理事より、アンケートで日程調整を行ってほしいという意見も出された。審議した結果、9 月の理事会は原案どおり 16 日(火)に開催し、12 月の理事会については、日程に関するアンケートを至急行い、日程調整を行うこととなった。

(5-2) 研究発表奨励賞の件

阿久津表彰委員長より、研究発表奨励賞の 2 次審査を本大会で行う。対象は 12 件であり、そのうち最終審査で 5 件程度が決まる。7 月くらいに本件についてのメール審議を行うため、協力をお願いしたい旨の要請があった。

(5-3) その他

赤松監事より、繰越金額が多いとの指摘があり、短期的な事業に活用する等、使い方を考えた方が良いという意見が出された。

(6)閉会

以上の議事を終え、16時55分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

平成26年6月4日

代 表 理 事

青 木 和 夫^①

監 事

赤 松 幹 之^①